

ほっこり ウィークリー (最終号)

94号
2022
4.29

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。

～ 春の開園時間延長！ ～

4月11日(月)から5月15日(日)まで

午後6時30分まで開園しています(入園は午後6時まで)



← 京都府立植物園[公式]Twitterアカウント始めました！ 見頃情報を中心につぶやいています。



京都府立植物園[公式]YouTubeチャンネル始めました！ 動画で園内の様子を紹介しています。 →

第29回 フクシア展

- 期間：4月22日(金)～5月8日(日)
- 場所：観覧温室(ジャングル室)
- 内容：フクシア約150品種200鉢を展示

花苗園芸市 & 野菜地域産品市(植物園マルシェ)

- 期間：5月1日(日)～5月2日(月)
- 場所：大芝生地 & くすのき並木
- 内容：*花苗や園芸関係グッズの販売、園芸愛好家による展示・PR
*野菜や地域産品の販売、展示

第41回 エビネ展

- 期間：4月29日(金祝)～5月3日(火祝)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：エビネ類約200点を展示(販売あり)

手づくり品市(クラフトマルシェin京都府立植物園)

- 期間：5月3日(火祝)～5月5日(木祝)
- 場所：大芝生地
- 内容：手工芸品、お菓子などの手づくり品市、ワークショップ

◆4/29(金祝)エビネ展 関連講習会

植物園会館2階多目的室 13:30～15:00 (受付13:00～)

内容：未定

講師：京都エビネ会会員

※定員：当日先着60名

第25回 イワチドリと小町蘭展

- 期間：5月4日(水祝)～5月5日(木祝)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：イワチドリ約200点、小町蘭約50点、その他野生蘭50点を展示(販売あり)

第59回 山草野草展

- 期間：4月29日(金祝)～5月5日(木祝)
- 場所：植物園展示場
- 内容：山草、野草類約500点を展示(販売あり)

◆5/3(火祝)山草野草展 関連講習会

13:30～15:00 (受付13:00～)

内容：植物園職員のガイドによる植物生態園の見学

集合：植物園展示場

※定員：当日先着30名

第27回 長生蘭展

- 期間：5月6日(金)～5月8日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：長生蘭約300点を展示(販売あり)

「水曜ミニガイド」 植物園認定ガイドがご案内！

毎週水曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！

「名誉園長さんときまぐれ散歩」

5月29日(日)いつものように爽やかガイド！

植物園会館前西側集合：午後1時スタート！

「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

- 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時
- 電話075-701-0141



スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！ ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察！

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」

2022. 4. 29
94号

⑫ フクシア

アカバナ科。メキシコからアルゼンチンのパタゴニアにかけてのアメリカ大陸と西インド諸島に分布。萼(がく)が上に反り返ることが多く、花弁がその下にスカート状に広がることから、英名でLady's eardrops(貴婦人のイヤリング)と呼ばれる。

⑪ ウマノアシガタ

キンポウゲ科。北海道西南部から沖縄、東アジア原産。名前の由来は地際の葉の形が馬の蹄に似ているといわれるが、あまり似ていない。蹄鉄を打たない時代に使われていた馬わらじの形が上から見た花の形に似ているという説もある。

⑩ ホウガンノキ

サガリバナ科。南米原産。果実が砲丸に似ていることが和名の由来。温室内では結実が困難なため、当園では職員が人工授粉を行っている。雄しべは虫をおびき寄せるためだけの花粉の出ないものと短い花粉の出るものと2種類ある。

⑨ ルリカラクサ(ネモフィラ)

ムラサキ科。北アメリカ原産。属名のネモフィラと呼ばれることも多い。ネモフィラはギリシャ語で「森を愛する」の意味で森の茂みの中の明るい日だまりに自生していることに由来する。英名では「ベイビー・ブルー・アイズ」と呼ばれている。

① ヤブデマリ

レンプクソウ科。本州、四国、九州に分布。やや黄色を帯びた小さな両性花が集まる花序のまわりに、白色の大きな5枚の花弁の広がった装飾花が縁どる。5枚のうち1枚が極端に小さく、おおよそ小さい花弁が花序の内側を向いている。

② ボタン(牡丹)

ボタン科。中国原産。日本には薬用植物として渡来。その後、観賞用にも栽培されるようになった。ボタンは木本で冬も枝が残るのに対し、シャクヤクは草本で冬は地上部が枯れ、地中の根や芽で冬越しする点で区別できる。

③ シラン(紫蘭)

ラン科。日本、台湾、中国などに分布。ラン科植物には珍しく、極めて丈夫で、半日陰から日向まで適応し、乾燥にも過湿にもよく耐え、栽培しやすい。同様に、本種の種子はラン科植物としては異例に発芽しやすい。

④ モッコウバラ

バラ科。中国中南部原産。花は白か淡い黄色で、それぞれ一重咲と八重咲があり、直径2~3cmの小さな花を咲かせる。黄花の一重や白花には芳香はある。一般的にモッコウバラといった場合には、黄色の八重咲を指す。

⑤ シバザクラ

ハナシノブ科。北アメリカ東部原産。和名は花の形や色がサクラに、草姿、葉形がシバに似ることから付けられた。属名のフロックスはギリシャ語で「炎」を意味し、赤色の花に由来する。性質は強健で乾燥、寒さにも強い。

⑥ タニウツギ(谷空木)

スイカズラ科。日本原産。北海道から山陰地方の日本海側を中心に分布。山地の谷沿いに自生し、ウツギと同じところに花が咲くことからその名が付いた。田植えの時期に花が咲くので「タウエバナ(田植え花)」としても知られる。

⑧ ルピナス

マメ科。北アメリカ原産。ルピナスの名はオオカミに由来し、吸肥力が非常に強い特徴を貪欲な狼にたとえたものである。また、チョウに似た小花が咲き上がる様子がフジを逆さまにしたようで、和名で「ノボリフジ(昇り藤)」とも呼ばれる。

⑦ ツンベルギア・マイソレンシス

キツネノマゴ科。インド南部原産。大型つる性植物で原産地では10m以上伸びる。属名のツンベルギアは「日本植物誌」で知られるスウェーデンの植物学者の名に、種小名のマイソレンシスは、原産地であるインド南部の都市名に因む。

